

## 変わったもの

徳永 公平

### ●研修を終えて

研修前と研修後、何が変わったかといえば「感覚」が変わった。1週間前の自分と比べて、明らかに、見ているもの、聞こえてくるもの、考えていること、味覚、嗅覚、(触覚?)、何か違う。

一つの物を見ていても前より多くの方向から見ている感覚。それだけで景色が違う。

英語が聞き取りやすくなっただけではない。人の話を聞いていて、その言葉の中のごまかしや、定義せずに使っている言葉が明瞭に聞こえてくる。

批判的な思考能力は養えているつもりだったが、どこかで見たか聞いたかした論説をパクっているだけだったと気付いた。自分を基準にできるほどの知識も哲学も持っていないことを身に染みて感じ、考えることと並行してそれを批判的に(決してニヒルにでなく)考える力がついたように感じる。

めまいがするほど詰め込まれたスケジュールをこなす中、隣にいる友人の顔つきが変わっていくのを見て、一週間で人間が学べることの多さに気づく。時間への意識は明らかに変わった。

これらはほんの一例で、「感覚」というよく分からないものを無理やり言語化して既存の陳腐な価値観の中に押し込んだものの一部にすぎない。「何か違う」と書いたが、文章で表現することができないのがとてももどかしい。自分が本当に伝えたいのはその「何か」であり、そうごまかさざるを得ないのは、学んだこと、感じ取ったこと、考えたことのすべてを未だ自分で飲み込めていないからかもしれない。

ただ、今自分の中に確かに存在する「何か」という実感が、結果という実体となって、この研修に参加しなかった場合の自分の未来と決定的な違いを生み出した事を自覚したときに、自分は初めてこの「何か」を説得力を持って伝えられるのだと思う。

その時のために、進む道さえ決めていない将来を、止まらずに進もうという決心をすることは、この研修に参加した者ならだれにでもできるのではないだろうか。

### ●志望動機

高校に入ってから、興味のあることはたくさんできた。ただ一生続けたいと思うようなことには出会えず、なんとなく大学に行って、なんとなく就職して、なんとなく人生が終わってしまったのではないかという焦りを感じていた。なにか人生を決定づけるようなきっかけが欲しくて。

というのがいつのまにかこじつけていた理由で、実際は報告会で先輩の話聞いておもしろそうだったからとか、世界一の大学に行ってみたかったからとか、あまり深く考えていなかった気がする。

研修が終わってからだから言えることだが、大切なのは動機ではなく行くこと。自分が悩んでいることの解決にならないとしても、そんなことがどうでもよくなるくらい自分の価値観を変える経験が必ずできる。だまされたと思っていってみるといい。



以上で、自分が書きたかったことはだいたい書いた。ここからは種々のプログラムに対する自分の感想を中心に書くので、もう少しお付き合いいただけたら幸いである。

## ●印象に残ったプログラムについて

### I. 到着直後の RA による説明

速すぎて半分以上聞き取れなかった。リスニングはそこそこ自信があっただけにかなりショックだったことを憶えている。

### II. 紅林さんの講演

自分を律することは難しいから、あえて厳しい環境に身を置く、というのは当たり前といえども当たり前のことなのかもしれないが、言われたときに一気に視界が開けた感じがした。ついダラダラしてしまう自分にぴったりのことをお話ししてくれて、本当に感謝している。

### III. クリス教授によるレクチャー

英語の発音、単語の意味、文法、コロケーション、すべてひとつひとつ丁寧に解説してくれたり、イギリスと日本の文化や教育の違いを対話形式で授業してくれ、授業に参加しているという実感のあるとても楽しく、ためになる授業だった。また、私たちが睡魔に襲われ始めると嫌な顔一つせず“OK, let's stand up!”と言ってすぐに立ちながらのアクティビティにしてくれるようなウィットに富んで、しかもとても器の大きい人だった。尊敬。

### IV. 岡本さんの講演

何の話だったかは他の人のレポート見て、どうぞ。目新しい考え方とかではなかったが、あれだけの熱量と自信でもって話されたインパクトは大きい。データはすべて自分で集めているし、私たちのレスポンスに対する返しの速度と精度には圧倒された。人生楽しんでいる人ってこういう人なのかなと思った。

## ●5期生に向けて、現地学生との会話、英語力について

耳は慣れる。ただ、脳みそは1週間じゃあまり変わらない。というのが1週間イギリスにいた感想。実際、はじめ半分も理解できなかった RA の会話が3日目頃からほとんど理解できるようになっていた。ただ最後まで英語が口をついて出るようにはならず、少し頭で組み立ててからでないと話せなかった。単語力は英検2級くらいのレベルがあればほとんど不便しない。あまり準備はしていかなかったが、強いて言えばもう少しリスニング練習をしていれば1、2日目の方が楽だった気がする。最初から食堂で一对一はキツイので、友達何人かと一緒に一人で食べている人を取り囲むといい。会話は途切れないシネタを準備する時間が取れるので、効率よく英語に慣れられる。留学生の話だと3か月も留学していれば自然に話せるというようなことを言っていたので、焦る必要はないと思う。話しかけ、会話を続けることを目的とするのではなく、あくまで会話を楽めるようにリラックスすると意外と英語がでてきたりする。

写真：クリス教授と

